

## 海外食料需給レポート (Monthly Report) のポイント 国際的な穀物等の需給の見通し (2009/10年度)

穀物全体、油糧種子ともに生産量は消費量を若干上回ると見込まれるものの、作付けが本格的に始まり、生育期を迎える南半球の動向等に注視が必要。

穀物全体の期末在庫率は 20.7%と昨年度(20.9%)並みで、FAOの安全在庫水準(17~18%)を上回る見込み。

### ○主な品目別の需給

#### 小麦

世界的に豊作となった前年度より生産量は減少するものの、消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

【生産量：668.1百万トン（▲2.1%）、消費量：648.2百万トン（+1.6%）】

- ◇米国やカナダの春小麦が収穫終了
- ◇豪州東部でエルニーニョの影響による乾燥懸念
- ◇アルゼンチンで干ばつによる作付け減少

#### とうもろこし

前年度より生産量はわずかに増加するものの、消費量を下回ることから、需給は引き締まると見込まれる。

【生産量：792.5百万トン（+0.2%）、消費量：803.1百万トン（+3.7%）】

- ◇米国で飼料及びエタノール原料用需要の増加
- ◇アルゼンチンは作付けが中盤から終盤、ブラジルは作付け開始
- ◇中国東北部の干ばつによる生産減
- ◇米国の低温、降雨によるとうもろこしの収穫の遅れ

#### 米

前年度より生産量は減少し、消費量を下回ることから、需給は引き締まると見込まれる。

【生産量：433.7百万トン（▲2.7%）、消費量：438.5百万トン（+0.7%）】

- ◇インドでモンスーン期の干ばつによる作付面積の減少

#### 大豆

面積の増加から生産量は前年度を上回り、消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

【生産量：246.1百万トン（+16.8%）、消費量：231.6百万トン（+5.4%）】

- ◇中国で大豆（搾油用）の需要の増加
- ◇ブラジルは作付け開始、アルゼンチンは例年11月以降に作付け予定
- ◇米国の低温、降雨による大豆の収穫の遅れ